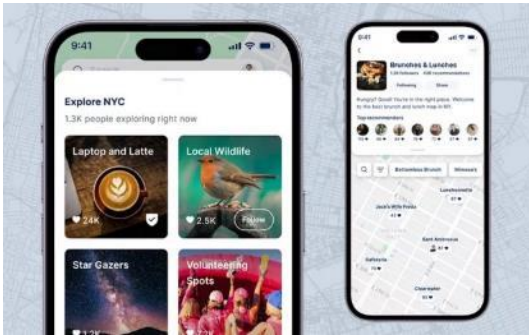


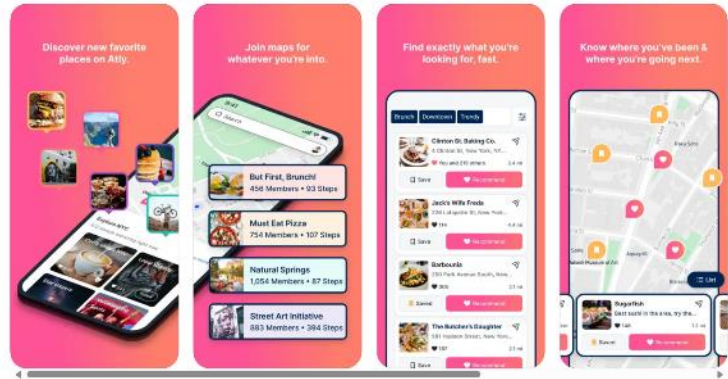
## 事例) Atly : 自分だけの地図を作れる地図アプリ

### テーマ別に地図を作成し共有する新たなSNS、「マップインフルエンサー」として収益化も

2019年にイスラエルで設立された Atly。「地図作成と行きたい場所の発見のための次の社会パラダイム」の創造をサービスの軸としている。地図スポットに投稿した口コミ・お気に入りスポット情報をシェアできるサービスで、ユーザーはWeb またはモバイルアプリを通じて、独自のテーマ・固有の地図をベースにしたコミュニティを作成。その後、ユーザーはそのコミュニティのマネージャーになり、そのコミュニティで他のユーザーが実行できる内容に関するエンゲージメントや権限のルールを設定することができる。Atlyは2019年に125万ドルを調達してサービスをローンチ。2023年には1,675万ドルのシリーズAラウンドを実施（累計1,800万ドル調達）。ユーザーは12万人を超え、6500以上の地図コミュニティが作られている。現状、サービス自体は広告なども収益化していないが、一部のユーザーがマップを「非公開」に設定し、料金を払って参加する人には非公開リンクを提供することで収益を得ている。



<https://www.atly.com/>



#### ポイント

### ①テーマ別マップ&コミュニティが作成可能

新しいお店、レンタサイクル、無料公衆トイレなど、地図をテーマ別に作ることができ、その地図を使うコミュニティを作れる。

### ②コミュニティ作成者がルールや権限を設定

マップコミュニティの作成者が、コミュニティメンバーに対してピンを立てたり情報を追加するなどのルールや編集権限を設定可能。

### ③地図で稼ぐマップインフルエンサーも誕生

作成したマップのURLをファンクラブ会員にのみ公開するマップインフルエンサーも誕生。あらゆるスポットに口コミ・ピン立てが可能のため、そのインフルエンサーが体験したものをファンがそのまま体験できることが魅力。